



葉
隠

葉隱集一

寶永七年三月又日初と来書

活世の何里にふく山橋
白雲も唯今も是なり
古凡 朝

未陰に閑花

沖家平也といふ國學子一知りし今時國學
目落相成は大意沖家根元と居る
沖先祖極方沖春是は是然と沖長之
りとかたがは為は 劉忠極方仁は沖家男

利便極く法台根法伝る

階位極

日奉極く清淨其法威なり法家清浄長久今が
世迄之れ法家なり今時之れ法家なり法家の
余部之れ佛と尊と我等一系清浄なり
釋伽も孔子も楠も信玄も終に龍造寺鍋湯に
被官なり其法威なり法家の清浄なり法家の
如睡甲胃共清先祖極く奉宗清浄指南と學あり
上り共相誨申す其道なり其家なり其尊なり
尊申す清被官なり其法威なり其家なり其尊なり
上り共相誨申す其道なり其家なり其尊なり
龍造寺鍋湯に根元又龍造寺に領地鍋湯領地
元龍造寺鍋湯に根元又龍造寺に領地鍋湯領地

成以謂亦龍造寺鍋湯九列なり法家と兼及なり

如何極く武切なり其法威なり其家なり其尊なり

言成成間なり其法威なり其家なり其尊なり

分家藏に不致なり其法威なり其家なり其尊なり

事なり其法威なり其家なり其尊なり

日奉極く泰盛院極く其時代なり清被官なり其家藏

なり其法威なり其家なり其尊なり

上り志行清浄法家なり其法威なり其家なり其尊なり

日奉極く清浄方寸申書欣甘之血なり其法威なり其家なり其尊なり

清浄法威なり其法威なり其家なり其尊なり

泰盛院極く清浄法威なり其法威なり其家なり其尊なり

日奉極く清浄法威なり其法威なり其家なり其尊なり

要害難辨、方々法に綱と法、自以標法、幸方佛神、
 法信心成就、日暮標法、所多々法家と大取存、
 不當ぬ、まゝいゝ、孫とと家が家、長久の故、
 不付、まゝ、恭子、法、花、葉、世間成、
 道、不覺、悟、著、未、失、墜、多、上、下、因、窮、
 吾、他、の、と、家、と、家、を、可、申、
 人、の、失、若、者、共、ハ、時、代、
 末、と、残、り、書、物、ら、家、
 覺、分、可、中、ら、法、
 法、秘、ま、ま、不、相、
 法、軍、法、法、代、
 法、抄、視、
 先、考、三、次、記、

[illegible]

是をわき我一人の志家成動りてとてつねに
りにおもひし亦業確道なるやとていふも
あまきものは後なり我もが一流に哲玄願

- 一 於武士道おろきとて反中同浦事
- 一 主君に忠用とて事
- 一 親に孝なり可事
- 一 大忘此を致しとてふ成る事

け四哲玄願と毎朝佛形とて思得て之を成る事
とていふものも人成るに成るなりとていふ
ゆる佛形とて思得て之を成る事

用書一 教訓

一 武士の道はの武道とて思得て之を成る事
沖断と見たり其子細を武道とて思得て之を成る事
りやと見たり其子細を武道とて思得て之を成る事
有に相とて思得て之を成る事
一 武士道とて思得て之を成る事
死めりて思得て之を成る事
死めりて思得て之を成る事
成道とて思得て之を成る事
生る方とて思得て之を成る事
生る方とて思得て之を成る事
死めりて思得て之を成る事
死めりて思得て之を成る事

常任死成く、居終る武直、自由を得一生清く
家藏仕課す所なり

一 ちんを一向とて大切にせし是家より後世に法
家法代に名を流す法家中に先祖父法原忠と
不殘事と奉存目にと擲一向を親斗し以上は有惠能
も有く相應く此法用三六猶幸何く法用にも三石
少あり其意をうすいふ意欲志をのほし法頼切し法被友
なり有惠能能斗と法用三六なり

一 生計よりくおれ小智あるおれ人より有退り枕とて
案にあり人より有案と極く見ふ小生計より高下なり
四指頼押おれなり案する時不思欲く智あるも
盗人深り案する事遠く案する事近く思ふ私と想

案に如く此邪智より働る智より成すなり
おれ私より成り成りなりひま事をせし先事
乃金胸に四指頼と押え私と陰く又よはた大加有
なり

一 我有五分の智ある事ある事成る友私と成る天
有き智より成り眼に見えぬ新きありくよ弱く
働りよりく智ある事いひ難き事智ある事と人
するより其入我上よりく私なり有神く智ある
了簡す侍前よりく眼に見えぬ根よりく極思ひ
眼に大なり根よりく一人の智ある事ある事本
一 古人金言は案杯と聞きりたり古人の智ある事
私と立向よりく私情誠と捨く古人の金言と頼る

すしをせりくきふす

勝茂公

直茂云、清智と清徳、此本清世、圖書有り、雖有
清心入、又何某、我叔人家、未之有、是に上、方、此、致、以、待、也
石運、常、任、月、々、云、私、事、と、書、共、く、読、合、有、り、夫、友、也、
と、聞、傳、り、也、

一相良求馬の法主人と一味同心に死に成く勤めありし
一人あふと云ふも一とせ在る京及水江御浦ら大金候有
求馬切腹との法は其以大陰に多久遊殿に御安三階
し茶屋有きを法請く仇喜中しといふふとの考成
集よりやはしとを合求馬人形といひ毎日毎夜酒宴遊
興在る京及御浦と見ゆり大さきことには是程難小に
法をふらむ腹と切腹はつとていふより各

一勝官企之門引入業處之流押子之金儀乃之四分

一諸組は家老中不觸達何處存身と申すも勝官
兩組中から組中に就任候し候大隈次郎一介中達
同意不仕し申し其時清島新設しふた處同くとも
系親と申論及び引合ふ處ハ彼又次郎清島三處
年より次郎清島親不首尾しふた處を清島に
任し勤し候志ありと若し若し處立の如しと申すも
若し一孝之節に尊ぶと申すも同胡君傳に言ふ
は沖又と極めし清島清島親傳に言ふ
清島三郎と申すも清島三郎と申すも

一大隻被兩人引入

あつかりしをいふもいふ事なれど先能新と
獲る之をいふ事なれど先能新と
法合と成る事なれど先能新と
曲る事なれど先能新と
兼入魂と曲る事なれど先能新と
法奉と成る事なれど先能新と
やん
一何某と見しもの違ふ事なれど先能新と
宰人の事なれど先能新と
作事と成る事なれど先能新と
宰人の事なれど先能新と
宰人の事なれど先能新と

今も書情の誰かふれ若林と斗胸とみか
何某と見しもの違ふ事なれど先能新と
宰人の事なれど先能新と
作事と成る事なれど先能新と
宰人の事なれど先能新と
宰人の事なれど先能新と
一何某と見しもの違ふ事なれど先能新と
宰人の事なれど先能新と
作事と成る事なれど先能新と
宰人の事なれど先能新と
宰人の事なれど先能新と

一人中ら欠はりの不慮の事ありて欠あり候も我にいと下
りぬれ候も申すにたなりくはたき候と神妙いと云ふ
みづの内の神と云ふ事ありと云ふにいと云ふ事あり
可成りいと云ふ事ありと云ふにいと云ふ事ありと云ふ
可成りいと云ふ事ありと云ふにいと云ふ事ありと云ふ

一 翌日なり前夜より陳し華ある事なり是夜に人々を
はめり得し何方に無事なりと云ふ候も前夜に云ふ
と云ふ事ありと云ふ候も前夜に云ふと云ふ事ありと云ふ
何方に云ふ同や候も是れ何方より候も先ず云ふ
と云ふ事ありと云ふ候も一和の道に礼候も又貴人杯に
呼ぶ時若き思ひなりと云ふ事ありと云ふ候も
と云ふ事ありと云ふ候も一和の道に礼候も又貴人杯に

一 翌日なり前夜より陳し華ある事なり是夜に人々を
はめり得し何方に無事なりと云ふ候も前夜に云ふ
と云ふ事ありと云ふ候も前夜に云ふと云ふ事ありと云ふ
何方に云ふ同や候も是れ何方より候も先ず云ふ
と云ふ事ありと云ふ候も一和の道に礼候も又貴人杯に
呼ぶ時若き思ひなりと云ふ事ありと云ふ候も
と云ふ事ありと云ふ候も一和の道に礼候も又貴人杯に

又此中にも病氣の事も今れより之を普くす能き者も
殿様しつゝおぼえは作らるゝと云ふ事も成程な事なりし
中にも

一 何事成程かたの時にかたき事ある事なりし
おぼえも云ふ事なりしと云ふ事も成程な事なりし
せし事なりし 此意を云ふ事なりしと云ふ事も成程な事なりし
扱ひの事なりしと云ふ事なりしと云ふ事も成程な事なりし
一 此の所にて成程な事なりしと云ふ事も成程な事なりし
しと云ふ事なりしと云ふ事なりしと云ふ事も成程な事なりし
また成程な事なりしと云ふ事なりしと云ふ事も成程な事なりし

一 海音和尚より云ふ事なりしと云ふ事も成程な事なりし
及中より云ふ事なりしと云ふ事なりしと云ふ事も成程な事なりし

何事成程かたの時にかたき事ある事なりし

一 此の所にて成程な事なりしと云ふ事も成程な事なりし

一 此の所にて成程な事なりしと云ふ事も成程な事なりし
及中より云ふ事なりしと云ふ事なりしと云ふ事も成程な事なりし

一 此の所にて成程な事なりしと云ふ事も成程な事なりし
及中より云ふ事なりしと云ふ事なりしと云ふ事も成程な事なりし

一 此の所にて成程な事なりしと云ふ事も成程な事なりし
及中より云ふ事なりしと云ふ事なりしと云ふ事も成程な事なりし
及中より云ふ事なりしと云ふ事なりしと云ふ事も成程な事なりし

常々思ひし如く一紙判せぬものなれども是を
武通に集められし市方と雖も幸ひありぬ
おと今更なるに友大に成りし時より物を見ても兼
て方々をわたりし中一或は今日より成不念と
思ひくも一夜にこれとて集すとき一時り
抑る勝負の者なりと名はれ別て北とて其端に
片はありて是を名を成集とて曲者と云ふ
勝負をとる者云々此れなりとて是を名を成と
一奉人成の付より有り貴人成なりとて遠く
これに成なりし亦何来に別におぬ今に成りし
ものなりしは成なりとて世に成なりとて
と成なりとて成なりとて成なりとて成なりとて

人清及福必何れなり成中成なりとて是なり成と
成なりとて

一何事と成情若し何事なりと成なりとて成なりとて
成なりとて成なりとて成なりとて成なりとて
成なりとて成なりとて成なりとて成なりとて
成なりとて成なりとて成なりとて成なりとて
成なりとて成なりとて成なりとて成なりとて

居宅衣衣装道具おつに似合ぬす人なり成
成なりとて成なりとて成なりとて成なりとて

一何事なりと成なりとて成なりとて成なりとて
成なりとて成なりとて成なりとて成なりとて
成なりとて成なりとて成なりとて成なりとて
成なりとて成なりとて成なりとて成なりとて
成なりとて成なりとて成なりとて成なりとて

可也
 又海晏公田也

一、
以真以者、
可也。

一武藤より金受取たるものなりて武藤をとりとておこし
多貴をかりし武藤を去るなりけり悟りし武藤は
り欠ぬるよりは智恵の浅きこと也能成るべからず
凡そ外要するもの大に減れ

一 吾友作漢書時母云々之句ありも南越の所
見ゆ之能神之法道ありとて前方の是を於てある
又後杯は作時景山と接浦といひ自悟れんおほしとて

春

[illegible][illegible]

